

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課	■担当係	環境保全係
■評価事業名称	環境保全専門委員設置		
■評価事業コード	030200 - 203	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	02 環境監視体制の強化と公害の防止	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	地方自治法第174条、北上市環境保全専門委員設置規則		
■関連計画の名称	北上市環境基本計画		
■事業の目的と概要	地域環境の保全及び地球環境の改善。誘致企業等との環境保全協定の締結の際、大学教授等の専門的知識を有する方から技術的な意見を聴くための顧問官的な組織。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	環境保全専門委員設置	市民、事業所		環境保全専門委員(県立岩手大学教授、岩手大学工学部教授、新潟薬科大学名誉教授)計3名。専門委員会議1回開催。 ①北上市内における放射線測定結果と今後の放射能監視測定のあり方について ②生物生態系地域計画策定に向けた助言(提言)を頂いた。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	342	343	338	341	
人件費	1,400	1,473	973	551	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,742	1,816	1,311	892	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	北上市環境保全専門委員会議の開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	年1回開催	平成22年8月9日に環境保全専門委員会議開催。平成22年度の環境保全協定見直しの進捗状況及び次期北上市環境基本計画について説明し、環境保全専門委員から助言・提言をいただいた。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	企業等による環境汚染事故 ゼロ	事故発生ゼロ	事故発生ゼロ	1	事故発生ゼロ	
----	--------------------	--------	--------	---	--------	--

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況 ☒ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 順調に進んでいる	問題点・課題等
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☒ 大きな不利益やリスクが生じる ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☒ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☒ 先進的またはユニークな事業である ☐ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■ 今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 民間活用・協働事業化 ☒ II. 継続 ☐ V. 廃止・休止 ☐ III. 縮小・要改善 ☐ VI. 完了		補足説明